

## 学びへつなぐ地域型学習支援補助金 質問・回答

(質問)

【募集要項3 (2) ①】

補助団体のHP等を利用した受講生の募集は必須かどうか、ご教示ください。

(回答)

必ずしもHPである必要はありませんが、受講希望者がWEBから申込できるようにしてください。なお、受講希望者の多くは、下記のような流れで申込をされることを想定しています。

- ・各事業者がHP等(申込フォームのみでも可)を作成後、そのURLを市HPの学習支援ページに掲載。  
→市が「すぐーる」を活用して、中学生がいる世帯へ募集開始の案内を一斉配信。  
(この際、配信する文面には、学習支援の概要と市HPの学習支援ページのリンクを掲載)  
→市HPを確認後、各団体のHP等のリンクをクリックしてWEB申込に進む。

なお、申込フォームを作成する場合は、現在公募中の『「学びへつなぐ地域型学習支援事業」実施運営にかかる支援業務』の受託事業者が用意するフォーマットを活用いただくことも可能です。

(質問)

【募集要領3 (2) ④】

「具体的な実施曜日および実施時間、開始時期については、神戸市と協議の上決定するため、柔軟に対応してください。」と記載がありますが、これは企画提案内容において示した実施時曜日や時間を変更しなければならない可能性があるということでしょうか。また、何らかの理由により変更ができない場合は、実施団体として採択されない可能性があるのでしょうか。

(回答)

原則、提案のとおり実施いただくことを想定していますが、例えば、平日に学習支援を実施する場合、放課後の移動時間を考慮した開設時間が設定されていないなど、通いやすさが考慮されていない提案となっていた場合には、通いやすい時間への変更を協議させていただきます。また、通える中学生が極めて限定されるような時間の提案となっており、時間の調整もできないなどの場合には、採択しない可能性もあります。

(質問) 【募集要領 3 (2) ⑥】

神戸市が今後委託を予定している事業者が用意する「体験プログラム」とは、具体的にどのような事業で、実施頻度はどの程度になる見込でしょうか。

(回答)

神戸市が今後委託を予定している事業者が用意する「体験プログラム」については、現在公募中の『「学びへつなぐ地域型学習支援事業」実施運営にかかる支援業務』の受託事業者による提案内容次第となるため、内容と頻度は決定していませんが、仕様書には「英語に親しみながら外国の文化に触れる機会の提供など、中学生が多様な価値観に触れ、視野を広げるきっかけづくりや勉強へのモチベーション向上を目的とした体験授業」と記載しております。

(質問)

【募集要領 3 (2) ⑥】

学習支援以外の取組として、夢ゼミや体験学習の実施と記載ありますが、イベント実施は学習会の時間を活用して行うのか、学習会実施日と別の日程で行うのか、どちらになりますでしょうか。

(回答)

想定としては夢ゼミや体験学習の実施時間は、学習会の時間を活用していただくことを想定しています。なお、別日程で実施することも可能ですが、学習支援の利用者である中学生が参加しやすい日時の設定をお願いします。

(質問)

【募集要領 3 (2) ⑥】

学習支援以外の取組として、今回の事業の予算として見込んでいたほうがいい費用はあるでしょうか。

(回答)

募集要領に記載している夢ゼミや、市が今後委託を予定している事業者が用意する「体験プログラム」については予算を計上する必要はありませんが、学習支援団体が独自で取り組む体験学習等にかかる予算は計上してください。（様式2提案書に記載する『夢ゼミ以外に、団体で実施する体験学習の取組内容』にかかる費用）

(質問)

**【募集要領3（3）】**

実施回数について、週2回・週1回実施とありますが、それぞれ年間で開催回数の下限はございますか。

(回答)

年末年始やお盆休み等を除いて毎週実施いただくことを想定しているため、7月から3月の9ヶ月の場合、週2回実施であれば年間70回、週1回実施であれば年間35回程度の開催を想定しています。気象警報や感染症などの事情により、やむを得ず開催できない場合は、実施回数が減ることも想定していますが、その場合も、できる限り代替日を確保するように努めてください。

(質問)

**【募集要領10】**

企画提案書について、様式第2号で示されている項目を網羅していれば、パワーポイント等で作成しても問題ないか、ご教示ください

(回答)

問題ありません。